

ふれあいインタビュー

株式会社 建築と木のものづくり研究室  
 一般社団法人 街の木ものづくりネットワーク  
 代表取締役 湧口善之様  
 代表理事 善之様

湧口善之様



湘南平にある進和学園の常設販売店「ともしびショップ湘南平」が3月25日にリニューアルオープンしました。オープンに向けた改修工事の設計監理並びに建材、家具に係る木のコーディネートをお願いした湧口善之様にお話を伺いました。

【進和学園との出会い】

このたびのご縁は、進和学園さんと提携してホットケーキパーラーを担当する(株)研進さん(進和学園の生産活動の営業窓口会社)との交流から始まりました。

進和学園さんの「一人には一人のひかり」という理念と取り組みが、私が活動している伐採された街の木の再生のコンセプトと一致していました。「均質化しないで、個性を活かして、そのまま使い、人の役に立つ」というコンセプトです。

この「ともしびショップ湘南平」に、湘南平の木をはじめ50種類以上の無垢の木を使うことで、圧倒的な説得力を表現したいと思いました。また工事を進める中で、進和学園の皆さんと木を切り出して運ぶイベントや土壁ワークショップなどを実施しました。皆さんの顔が見えてくるにつれ、作業が楽しくなりました。

【家具のまちで木工修行】

私は、最初はヒノキやスギの木で家の設計や施工を行っていました。できるだけ身近な素材でつくることが取り組む中で、街の木という資源に着目しました。

2011年に「家具のまち」岐阜県高山市に1年間移住して、様々な木を集めては加工して家具を作るという日々をおくりました。そこで、「自分たちの街にも木はあるじゃないか、地域にあるもので街をつくりたい」と感じて地元の世界田谷区に戻り、現在の活動に至っています。

【湘南平の木を使っています】

昨年の秋、良いたイミダングで平塚市が安全対策のため、湘南平の高木を伐採していました。市の了解のもと、伐採された横たわっている木をチェーンソーで切り出し、進和学園のご本人、職員の皆さんに運んでもらいました。この木は、1階のくすのきテーブルの脚と2階の造作全般に使っています。



湘南平で切り出しする湧口様

【みんなでつくったお店】

カウンターの土壁も、進和学園の皆さんと一から作りました。下地の竹小舞は、やえくぼの篠竹を使って編み、その上に練った土を手で重ねて付けてあります。

【進和学園へのメッセージ】

「ともしびショップ湘南平」のテーブルや椅子など、どんなに使ってほしいです。使い倒していくことで、また味が出てきます。

【編集委員より】

インタビューの場所は、新しくなった「ともしびショップ湘南平」。湧口様で作られたテーブルや椅子、建材を実際に拝見しました。木の形や模様を活かしたデザインは、温かみと親しみやすさを感じます。貴重なお話をありがとうございました。



右から湧口善之様  
 月報編集委員 渡部陽子  
 平成30年3月19日(月)  
 ともしびショップ湘南平にて

ともしびショップ湘南平  
 湘南リトルツリーオープン!!  
 3月25日(日)





～木をふんだんに使った店内～



平塚市長 落合克宏様  
 平塚市議会議員 須藤量久様  
 平塚市障がい福祉課長 武井悟様  
 平塚市秘書広報課長 長谷川孝様



神奈川県議会議員 赤井かずのり様  
 平塚市障がい福祉部長 津田勝稔様



神奈川県議会議員 しんわ文化・スポーツ振興会会長 森正明様

湘南平にある進和学園福祉の店「ともしびショップ湘南平」のリニューアル工事が無事に終了し、1階にホットケーキパーラー湘南リトルツリーがオープンしました！神田の有名店・万惣フルーツパーラーの伝統を受け継ぐホットケーキが売ります。

また、オープンから3日間は湘南平スペシャルコラボとして、湘南平展望レストラン Flatさんで新メニューを注文した方に、サンメッセしんわの「湘南平縁結びクッキー」をお配りするという企画も行いました。たくさんのお客様で大盛況でした。



湘南平縁結びクッキー



銅版で1枚1枚丁寧に焼き上げるホットケーキ



大矢野範義マスターと亜裕美さんご夫婦